

新型コロナウイルス感染症対策について

【大会参加時】

- 1 参加者（選手、チームスタッフ、応援者）全員が健康チェックシートと利用者名簿を提出する。
- 2 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。
 - ・ 体調がよくない場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日間に入国制限／観察期間が必要な国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 3 参加者の検温は各チームの責任において行う。
- 4 入場は1チームごとで行う。支部ごとに入場時刻が設定されているので、「体育館への入館の仕方」を確認する。
- 5 開閉会式と代表者会、表彰は行わない。フロアでの受付後に大会についての諸連絡がアナウンスされるので、参加者は全員座席へ着席する。また、アナウンスされた注意事項はチームの責任において参加者に徹底させる。
- 6 マスクを持参し、移動・競技を行っていないとき・ベンチにいるとき・審判補助・受付・着替え・応援などでは必ず着用する。
- 7 参加者は、他の参加者・主催者・スタッフとの距離（最低1m）を確保する。
- 8 手指消毒剤を各チームで持参する。
- 9 手洗い・アルコール等による手指消毒をこまめに行う。
- 10 手洗い後に使用するタオルを各自で持参する。
- 11 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告する。

【競技】

- 1 各チームで会場に持ち込む用具（練習球・トローリーなど）は、使用前後に必ず消毒を行う。
- 2 タオルの共用やドリンクの飲み回しは絶対に避ける。
- 3 チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1席分空ける。
- 4 ベンチでは離れて座り、ウォームアップエリアでも密に気を付けて私語は慎む。

- 5 試合前円陣やベンチ等での集合時においてもできるだけ密集・密接を避ける。
- 6 試合開始・終了時のあいさつは、エンドラインでの一礼に留める。
- 7 コート内の選手がマスクを着用しても問題ない。
- 8 競技中のハイタッチは避け、腕のタッチにとどめる（手のひらを用いたタッチは慎む）。
- 9 競技中は靴底を手でさわらない。
- 10 タイムアウトやセット間にはアルコール等による手指消毒を行う。
- 11 試合前、コートチェンジ時、試合後にはチームにおいてベンチ等（モップを含む）を消毒する。
- 12 試合間のチーム移動（コートへの入退場）等は、アナウンスの指示に従う。
- 13 ロビー等に待機しないようにする。
- 14 スコアラー（簡易 IF）には筆記具を持たせる。
- 15 監督・キャプテンのサイン用ペンは、チームで準備する。
- 16 ラインジャッジフラッグは、チーム所有のものを使用してよい。
- 17 ラインジャッジ・点示・簡易 I Fを務めた選手は、試合終了後、ラインジャッジフラッグ・得点板・椅子等を消毒する。

【観戦・応援】

- 1 座席はなるべく間隔をあけて座る。
- 2 マスクを着用する。
- 3 大きな声での会話、応援等は控える。メガホン等の使用を禁止する。
- 4 ソーシャルディスタンスを心がける。
- 5 使用する観覧席の椅子、手摺り等を使用前、使用後に必ず消毒する。
- 6 食事中は会話を控え、向かい合わないようにする。
- 7 応援者（チーム保護者など）は1チーム12人以内とする。

※ 日本バレーボール協会 JVA ガイドライン（2021.03.05 更新版）と令和3年度 AVA ガイドラインに沿って作成しています。